

# 津波避難計画

## 中央区 湊地区コミュニティ協議会

この『地域版津波自主避難マップ』は、コミュニティ協議会が協議して作成したものです。平成28年3月作成



### 新潟地震の時は…

- ・湊地区は高台が多く、大きな被害がなかった
- ・浸水のあった他の地域の住民が、旧湊小学校体育館へ避難してきた

### 地域の社会特性

- ・高齢者が多い(高齢化率38.9%)  
【平成26年新潟市防災基礎調査】
- ・地区内の道路は狭い道が多く、避難経路として適した道が少ない
- ・周辺地域からの避難受け入れも考える必要がある

### 地域の被害特性

- ・住宅密集地で古い木造家屋も多いため、家屋倒壊や火災が発生するおそれがあり、避難が困難となる可能性がある

## 区域全体の避難の考え方

- ・湊地区コミュニティ協議会区域の半分は、避難者受け入れ地域である高台となっている。そのため区域全体の避難の方針として、浸水範囲外の高台の上を目指して避難する
- ・避難者受け入れ地域の住民は、状況によってさらに高台へ避難する
- ・二葉コミュニティハウスに避難者が集中した場合は、災害時要援護者や高齢者、乳幼児に配慮する

## 各ブロックごとの具体的な避難方法

ブロック	特徴	期待される避難行動	避難目標
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西堀通までは海拔0メートル地帯</li> <li>・市指定津波避難ビルがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海側の高台の方向を目指しながら、広小路を通り、新潟市教育相談センターへ避難する。さらに避難が可能な人は旧二葉中学校グラウンドまで避難する</li> </ul>	第1目標:新潟市教育相談センター 第2目標:旧二葉中学校グラウンド
B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横七番町通は浸水しやすい地域のため、避難する際は注意が必要</li> <li>・避難ルートが途中から急な坂道となる</li> <li>・浸水に備えて玄関を高くしてある家屋も多く、要援護者の支援が難しい</li> <li>・市指定津波避難ビルがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浸水被害が少ないと想定される本町通を通過して北上した後、傾斜が緩やかで避難しやすい浄信院(入船地蔵尊)前の道を通り、二葉コミュニティハウスへ避難する</li> </ul>	避難目標:二葉コミュニティハウス (避難ルート上の目印:浄信院(入船地蔵尊))
C	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海拔0メートル地帯</li> <li>・市指定津波避難ビルがない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東堀通と旧湊小学校脇を通り、二葉コミュニティハウスへ避難する</li> </ul>	避難目標:二葉コミュニティハウス (避難ルート上の目印:旧湊小学校)

地震が起こったら高台やより遠くへ直ちに避難!

津波がくる海や川からはなれて、近くの高台などへ直ちに避難

浸水区域の外への避難が間に合わないようなら、近くの津波避難ビルへ避難

津波避難ビルまで行く時間がなかったら、すぐ近くの堅牢な建物などに緊急退避

### 津波による4つの地域特徴

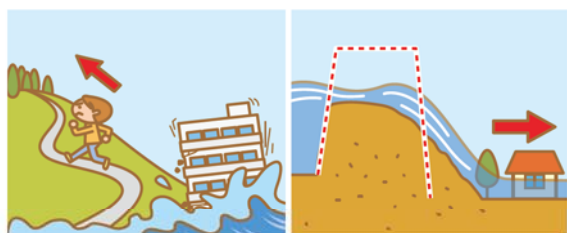
#### 沿岸・沿川地域

地図面色

##### 緊急避難地域

津波警報を待たずに、直ちに高台や避難ビルへ避難!

沿岸・沿川は、津波襲来までに時間的余裕がありません。津波の情報を待たずに、すぐに高台や避難ビルに避難しましょう。



#### 河川遡上地域

地図面色

##### 早期避難地域

河川沿いから直ちに離れて、高台や避難ビルに避難!

河川遡上地域では、早期避難が必要です。できるだけ川から「遠く、高く」へ避難してください。



#### 低平地浸水地域

地図面色

##### 長期浸水地域

高台や避難ビルなど堅牢な建物(コンクリート造)の高層階に直ちに避難!

低平地浸水地域では、地震発生直後から移動を開始し、津波被害が及ばない地域まで避難することが理想的です。



#### 避難者受け入れ地域

地図面色

津波浸水地域外の人へ避難者について受け入れを準備!

避難支援地域では、浸水が想定される地域からの避難者を受け入れ、避難生活を支える等の支援が期待されます。避難所、地域の住宅・建物に避難者の受け入れ準備をしてください。



地図面色

### 避難対策区域

『沿岸・沿川地域』『河川遡上地域』『低平地浸水地域』の津波浸水地域以外に「新潟市に想定される3連動地震」による津波浸水の区域です。より発生確率は低くなっていますが、確実な避難を行うため要避難区域としました。